

# 障害者も春楽しもう

## 隼人ウォーキング大会初開催



障害や年齢にかかわらず、誰もが気軽に楽しめるウォーキング大会が30日、霧島市隼人であった。車いす利用者やベビーカーを押す母親ら24人が参加し、ゆったりしたペースで桜が咲く春の散策を楽しんだ。

地元のNPO法人eウォーカーズ鹿児島Ⅱ紙屋久美子理事長(50)Ⅱが、この時期の恒例イベントにしようと初め

障害者ら誰もが楽しめるウォーキング大会

Ⅱ30日、霧島市隼人

て企画した。コースの下見を兼ね、石体神社から蛭見神社まで往復3キロ余りを1時間半ほどかけて歩き、嘉例川駅の弁当を味わった。

参加者は、初対面同士で車いすを押したり、心臓のペースメーカーを着ける人を気遣ったり。鹿児島市牟礼岡1丁目の車いす利用者、濱田敏明さん(60)は「スピードを合わせてもらえて、気兼ねなく楽しめる。桜もきれいで気分は最高」と写真に収めていた。

紙屋理事長は「コースの検討を重ね、龍馬ハネムーンウォーク後の大会として根付かせたい」と語った。

(濱田朋美)